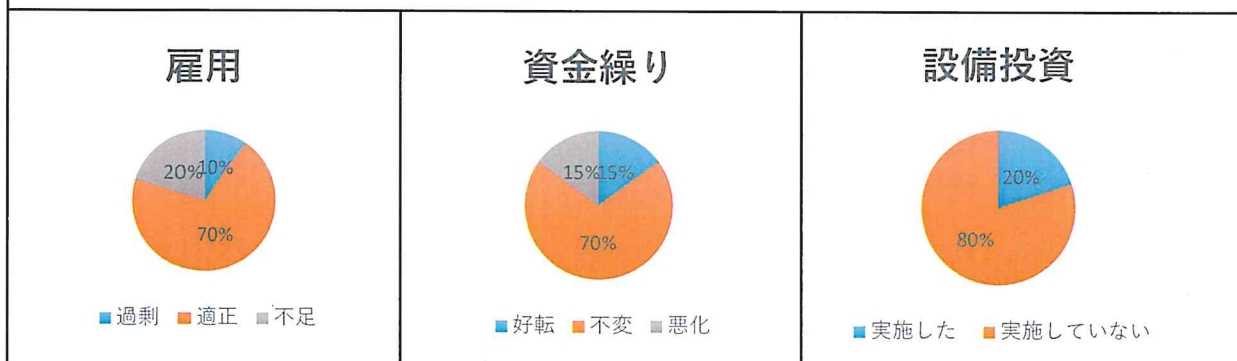


稲美町の経済の動き				第4号				
				発行月：令和4年4月 調査対象：令和4年1～3月				
《業況》				《採算》				業況
製造業		建設業		製造業		建設業		
良い	0	良い	0	黒字	1	黒字	1	
普通	1	普通	4	収支トントン	1	収支トントン	3	
悪い	4	悪い	0	赤字	3	赤字	0	
小売業		サービス業		小売業		サービス業		
良い	2	良い	1	黒字	1	黒字	1	
普通	1	普通	3	収支トントン	4	収支トントン	4	
悪い	2	悪い	2	赤字	0	赤字	1	

【稲美町の今期の景況】

全体的にコロナ禍の影響が続き、売上が落ち込んでいる。加えて、半導体不足、仕入価格の上昇、光熱費の高騰が重なって経営を圧迫している。先行きについては、見通せない状況が続いているが、事業所の中には、ECサイトでの販売や補助金を活用した取り組み等を行って、この苦境を乗り越えようと努力している事業所が見受けられる。



【兵庫県の景気動向】

兵庫県の景気は、持ち直しの動きを見せつつ、総じて厳しい状況となっている。個人消費は、持ち直しの動きに足踏みがみられ、輸出は増加している。設備投資は増加計画にあり、生産は弱めの動きとなっている。有効求人倍率は前月を上回り、雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年と同水準であった。

【全国の景気動向】

景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

【今期の景況を踏まえた経営指導員のコメント】

町内において依然として厳しい状況が続いている。商工会では、売上30%以上減少した事業所への「事業復活支援金」申請支援、販路開拓のための「持続化補助金」等の各種補助金申請支援、運転資金・設備資金を確保する「マル経融資」等の金融支援、経営全般について相談できる「専門家派遣」や専門家による相談窓口を設けているので、ぜひご活用いただきたい。